

# まちの日記帳



## 楽しかった水遊び

### 第8回子育て交流会びよびよクラブ

3/24

3歳未満の子どもを持つ親子を対象に、子育て支援センターと住民福祉課が共催する子育て交流会が、子育て支援センターで行われ、10組の親子が参加しました。

今回は、22年度の子育て交流会の最終日で、1年間を振り返り23年度の交流会実施に向けた話し合いが行われ、参加者からは「水遊びやお菓子作りは次年度も是非やりたい」などの意見が出されました。

最後に行われた手遊びでは、大きな声で楽しそうに手遊びする様子が見られました。

この交流会は、子どもだけでなく子育て中のお母さんたちの交流を図る機会にもなっています。



## 元気いっぱい・・・

### 保育所入所式

4/1

4/4

びくに保育所の入所式が4月1日に、みなと保育所では、4月4日に行われ、それぞれ16人と5人の園児が入所しました。

式では、天満保育所長のお話、先生の紹介のあと、入所した園児一人ひとりが紹介され、ちょっぴり照れながらも元気に返事をする子どもたちの姿を、出席したお母さんたちもうれしそうに見守っていました。



▲びくに保育所  
(4月1日)

みなと保育所▶  
(4月4日)



## ふるさと応援隊！

### 札幌しゃこたん会総会

4/8

札幌市とその近郊に居住している積丹町出身者で構成する札幌しゃこたん会（大沢哲会長・会員95人）の総会が、札幌市内のホテルで開催され、会員43人と地元からの来賓5人の49人が出席しました。大沢会長のあいさつに引き続き、松井町長が日頃の町政運営に対するご協力や多くのふるさと納税寄付金に対するお礼を述べ、町の近況を報告しました。交流会では、札幌市在住の大平源一さん（神岬町出身）が真剣による居合の型を披露したほか、丹水や珍味など積丹の特産品を景品とした抽選会が行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



### 無事故を祈って

#### 水中展望船「安全祈願祭」

—4月16日から運航—

4 / 14

本格的な観光シーズンを迎え、(株)積丹観光振興公社(杉山覚社長)が運航する水中展望船「ニューしゃこたん号」の安全祈願祭が行われました。

役員や関係者20人の出席者は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震によって亡くなられた方々への黙とうに続き、シーズン中のニューしゃこたん号の安全運航と無事故を祈りました。

杉山社長は「震災の影響により、観光業への影響が心配されておりますが、積丹観光振興の推進に努めてまいります。」とあいさつされました。

◆運航時間 午前8時30分から午後4時30分の不定期運航

◆運航期間 10月下旬まで(予定)



### 交通安全の願いを込めて

#### 街頭啓発

—死亡交通事故<sup>ゼロ</sup> 3,881日を更新中—

4 / 15

積丹町商工会女性部(葛西幸子部長)は、美国郵便局前で交通安全街頭啓発を行いました。この街頭啓発は、毎年春の交通安全運動期間中に行っているもので、この日は、関係者を含め35人が参加しました。

参加者はシートベルト着用やスピードダウンと書かれた手旗を振りながら、女性部手作りの「愛の鈴」と積丹サブレ、ポケットティッシュ、交通安全チラシのセットをドライバーに手渡し、交通安全を呼びかけました。



### ソーラン節に合わせて

#### いきいきクラブin婦美

4 / 15

住民福祉課が主催する高齢者のための巡回型運動教室「いきいきクラブ」が婦美会館で行われ、参加者8人とボランティア2人の合計10人が参加しました。

参加者は、ソーラン節の音楽に合わせて体を動かすイス体操や、ボールを使った体操など、程よく汗を流しました。体操後のレクリエーションでは、幼少期や青年期の流行歌や出来事を思い出しながら楽しいひとときを過ごし、大きな歌声と笑い声が会館に響いていました。

